

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 108 2012.12.16 連絡先 402-1622 >

あなたの思いを 1票に託しましょう

この選挙は、日本が、再び「競争する国」への道を進むのかどうか問われる大事な選挙となっております。

日本の国のあり方そのものが問われています。

一人1票、重い1票です。この権利をぜひとも行使しましょう。

今度の選挙では

2回投票します。

1 小選挙区選挙

個人名で投票します。

2 比例代表選挙

政党名で投票します。

みち子のひとりごと 私の自慢 その1...?

私の自慢の一つは、当たり前のことですが、選挙で棄権をしたことがないということ。引越をしたばかりの時の地方選は残念ながら選挙権がなく投票できない時もありましたが、国政選挙は引越しをしても郵便投票しました。

二十歳で選挙権を手にしたときは、東京に住んでいました。共産党に出会ったのは34、5才の頃でしたから、それまでは誰かから投票を頼まれるということもなく、公報などを見て判断し、投票していました。それでも今思えば、政権与党には投票したことがありませんでした。若い頃は、自分が投票した人がその後どんな仕事をしているか、についてはあまり関心がないかのように思います。

選挙には行くけれど、政治そのものは遠くに感じていたようです。若気の至り、ちつとも自慢にはならないお話でした。



生きるための「何でも相談村」

12月8日、西ノ丸広場において、第5回「生活再建ネットワーク 何でも相談村」が今年も開催されました。党市議団も要請に応じ、活動を支える支援のため「相談村」に参加しました。後援に和歌山県司法協会、実行委員会にはNPOホームレス支援機構、県教職員組合など16団体が参加して行われました。

みぞれまじりの雨が降るなか、善意で寄せられた冬物の衣料は必要な方に渡され、実行委員会が用意した暖かい豚汁には、相談者もスタッフも心身ともに暖め



相談村の入り口で。渡辺（左側）
姫田（右側）両議員と一緒に。

られました。今年の相談には、支援機構の活動などによってホームレスが解消されつつあり、住むところがないという相談はなかったようですが、就職相談、生活困窮相談、税金未払いへの対応等々の多岐にわたる相談がありました。派遣労働者の解雇、事業倒産などにより就職活動をするものの、仕事が見つからないことによる生活苦相談が増えていることが特徴です。

党市議団としても支援できる相談については対応させて頂きました。

陽子 沖縄の普天間基地に配備された垂直離着陸機のM V22オスプレイ3機が初の海外遠征を計画しているんだって？その費用を日本が負担すると聞いたわ。

晴男 南太平洋のグアム、テニアンなどの米軍基地や訓練場でやるそうさ。参加するのは、ほかに山口県、海兵隊岩国基地に駐留するF18戦闘攻撃機20機や普天間基地の空中給油機3機で、戦闘・攻撃訓練をするというんだ。

陽子 オスプレイって飛行機のように飛んだり、ヘリコプターのように空中で止まったりする航空機で、事故が多く、欠陥機と言われているわね。

晴男 そうだ。だから沖縄では県民はもちろん、県知事はじめ全市町村議会や首長が配備の撤回を求めているんだよ。

陽子 オスプレイは演習で何をやるの？

晴男 現地紙の報道によると戦闘捜索救難訓練とあつたね。

陽子 どんな訓練なの？

晴男 敵の攻撃で墜落した戦闘機などのパイロットを、

オスプレイ海外遠征、日本負担っておかしいよね

味方の戦闘機の援護を受けながら低空飛行で敵陣に押し入って探し、救出する。オスプレイも必要なら機銃掃射で応戦するんだ。

陽子 そんな訓練の費用を、なぜ私たちの税金で負担しなければいけないわけ？

晴男 そのとおり。日本政府の説明はひどいよ。米軍再編にかかわる訓練で、嘉手納基地で予定したものを県民の「負担軽減」のために米国領のグアムやテニアンでやるのだからっていうんだ。

陽子 そんなのおかしいわ。
晴男 それで、日本が訓練費用の4分の3を負担することの問題ない、と。昨年、そのための日米特別協定を合意している。

陽子 でも岩国や嘉手納での訓練の「移転」とは思えないわ。新聞に年間の負担額が40億円と書いてあったけど、「思いやり予算」を作った自民党政治を思い出す。

晴男 そうだ民主党政権も「米国いいなり」という点では同じだ。「自民党型政治」はもう終わりね。

(2012・12・10
しんぶん赤旗より)